

平成 29年度（28年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	長寿福祉課
	施策	地域包括ケアシステムの構築		電話番号	087-839-2346
	基本事業	社会参加、生活支援・見守り・居場所づくりの拡充		事業実施主体	市
	事務事業	高齢者見守り事業		事業期間	平成 28年度～平成 32年度

【事業全体概要】

事業の概要
 高齢者が地域で安心して暮らし続けられる環境を整備するため、定期的な高齢者の訪問や配食サービスによる安否確認や、24時間365日介護や日常生活の不安を相談できる専用ダイヤルの開設など、高齢者の見守り事業を推進する。また、徘徊高齢者等の早期発見につなげるため、位置情報探索システム(GPS)や高松市徘徊高齢者等保護ネットワークを活用し、電子メール配信システムの運用により迅速かつ広範囲への情報伝達を行うことで、認知症等が原因で徘徊する高齢者の早期発見・保護に取り組む。

29年度概要
 【見守り事業】特別あんしん見守り事業、地域で支えあう見守り協定事業、介護相談専用ダイヤル事業、のびのび元気体操普及事業等の事業を推進し、地域における見守り体制を強化する。
 【徘徊高齢者家族支援事業】GPSを普及し、電子メール配信等により徘徊高齢者の早期発見・保護に努める。
 【あんしん通報サービス事業】24時間365日相談できる窓口を開設する。
 【配食見守りサービス事業】配食にあわせて、安否確認等を行う。

重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	4-	事務事業の類型	ソフト事業(法律による実施義務無)
--------	------	----------	----	---------	-------------------


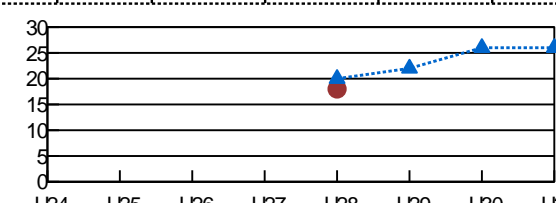

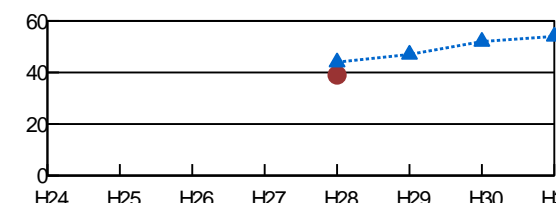
【事業の目的】

対象(何を)	65歳以上高齢者
意図(どのような状態にしたいか)	高齢者の在宅における日常生活を支援するとともに、事故の未然防止や早期対応を図る。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
見守り協定締結事業者数	事業者等			69	78	80
配食見守り事業利用者数	人			491	783	2,000

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
見守り協定に基づく通報件数	件	目標値			20	22	26
		実績値			18		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 協定事業者数の増加と、制度の習熟により一定数の増加を見込む。 (目標達成度) 							(達成度) 90.0% 31点
見守り対象としたハイリスク高齢者のカバー率	%	目標値			44	47	56
		実績値			39		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 協定事業者数の増加と、制度の習熟により一定数の増加を見込む。 (目標達成度) 							(達成度) 88.6% 31点

【コストの推移】

指標名	単位	平成 26年度(決算)	平成 27年度(決算)	平成 28年度(決算)	平成 29年度(予算)
トータルコスト	[千円]	12,304	28,768	57,268	96,948
(事業費)	[千円]	4,923	21,091	47,062	86,742
(職員人件費)	[千円]	7,381	7,677	10,206	10,206

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	----------	---------------------------	-----------

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

緊急通報装置貸与事業を平成 29年度までにあんしん通報サービス(新方式)に段階的に移行させることについて、平成 28年度中に移行を予定していたものが実施できなかったものがあったことから、平成 29年度中に移行させる必要がある。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

あんしん通報サービスへ完全に移行できるよう努め、見守り体制の充実に取り組む。